



健康で元気な子ども

かけ足

毎週火曜日の朝5分間、子ども達の体力向上のため、かけ足を行っています。クラス揃って走ったり個人で走ったりと、学年により取り組み方は様々ですが、職員も一緒に走っています。学校では、決められた時間割の中で、体力づくりや読書指導、あるいは基礎基本となる学習習慣の定着を行っています。時間は、わずか5分~15分ですが、一年間という長い期間で継続的に取り組むことで、効果を上げていこうと考えています。現在の子

ども達は、運動の2極化という事が言われています。運動を好む子どもは、学校でも放課後のスポ少などでも積極的に参加し、ほぼ毎日運動をしているが、そうでない子は、全く運動をせず家の中で過ごしているようです。やはり確かな学力や豊かな心の育成には、健やかな体の育成が欠かせません。子ども達の体力の向上を図るためには、運動の日常化を推進していくことが大切であると考えています。



プール開きに向けて

6月7日のプール開きに向けて、先日5、6年生がプール清掃を行いました。1年間の垢を落とすべく一生懸命に清掃に励み、とてもきれいなプールに蘇りました。プール開きが終わり、いよいよ水泳の学習が始まりました。水温がまだ低いためか、子ども達は少し寒そうですが、久しぶりの水の感触に満足そうでした。水泳指導については、創甲斐教育推進大綱の中の重点項目として、「小学校の体育で、25m完泳できる」ことがあげられています。泳力は個人によって様々ですし、限られた季節の中で取り組むものなので、なるべく多くの回数プ

ールに入り、少しでも泳ぎのコツがつかめるよう、指導していきたいと思います。夏休みのプール開放も積極的に参加し、自分の目標達成に力を入れて欲しいものです。

食育

今や食に関しては、様々な情報が入ってきます。学校では、子ども達が毎日食べる給食や給食の時間を中心に食に関する指導を行っています。その最初の一步として1年生が給食センターの見学に行きました。百聞は一見にしかずの諺の通り、子ども達は、食材・衛生面・作ってくれる人の大変さ・残菜処理など体を通して学習してきました。おかげで、当日の給食については、完食できた子がほとんどでした。健康な体づくりに欠かせない「食」について、全校で取り組んでいきます。

